

トラック輸送情報（平成22年3月分）

平成22年6月24日

国土交通省 総合政策局 情報政策本部 情報安全・調査課 交通統計室

担当：中野、久島、菊池 内線28722

直通：03-5253-8346

ホームページ：<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

1. 特別積合せ貨物

(1) 本月の概況

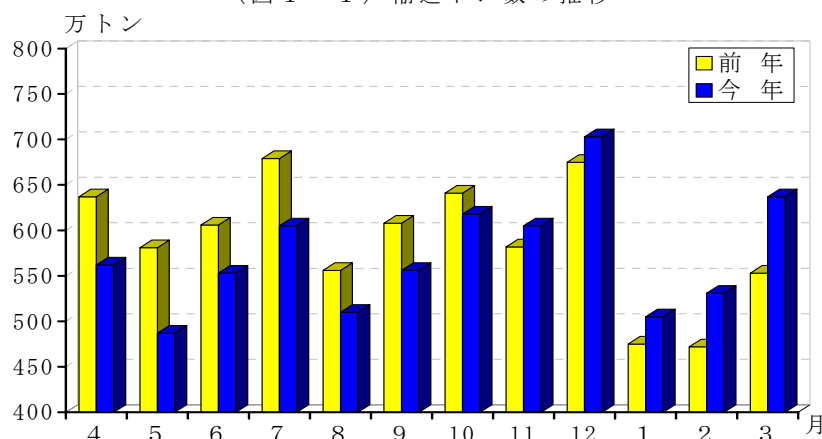
調査対象27社の本月の輸送量は、6,369,408トンで、前月と比べ総輸送量が約106万トン増加したため、前月比119.9%（季節調整済み100.3%）となり、前年同月との比較では、約84万トン増加したため、前年同月比115.3%の実績であった。

なお、平均稼働日数は25.4日で、前月と比べ2.7日増加し、前年同月と比べ1.1日の増加であった。稼働1日当たりの輸送量は、250,764トンで、前月と比べ約1万7千トン増加したため、前月比107.2%となり、前年同月との比較では、約2万3千トン増加したため、前年同月比110.3%の実績であった。

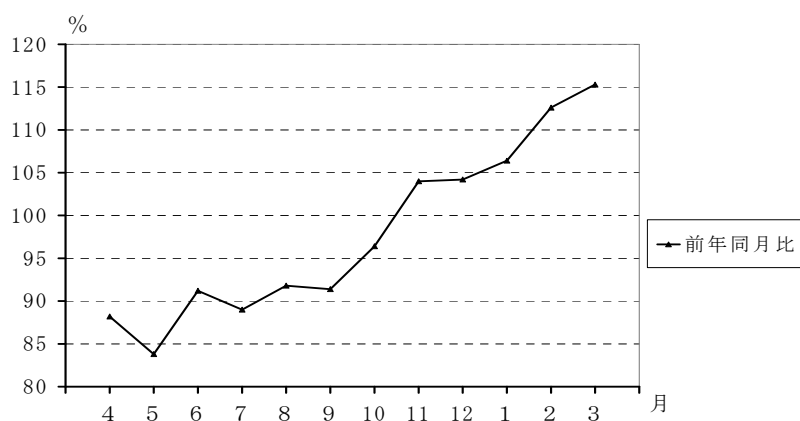
(図1-1、図1-2参照)

注) 平成21年4月から貨物輸送の調査対象については、1社増え、27社となった。

(図1-1) 輸送トン数の推移



(図1-2) 輸送トン数の前年同月比



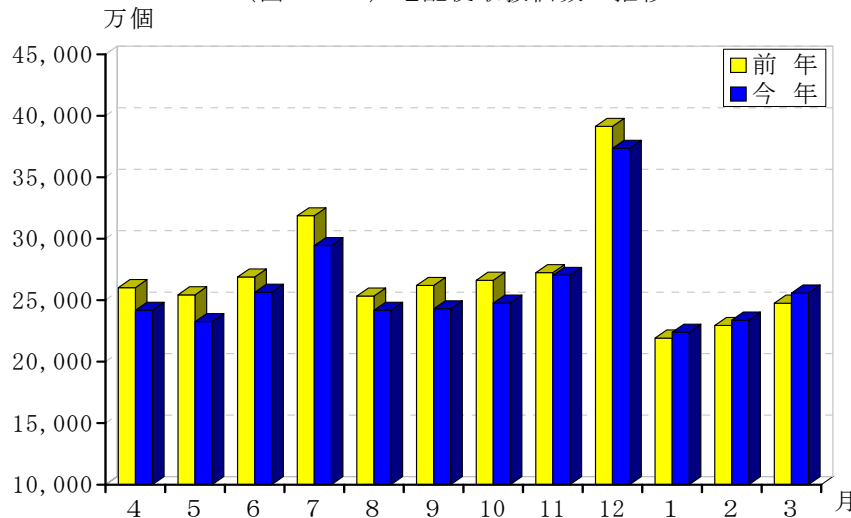
(2) 宅配便の概況

調査対象 19 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、255,847 千個で、前月と比べ 約 2,202 万個増加したため、前月比 109.4% (季節調整済み 97.9%) となり、前年同月との比較では、約 828 万個増加したため、前年同月比 103.3%の実績であった。

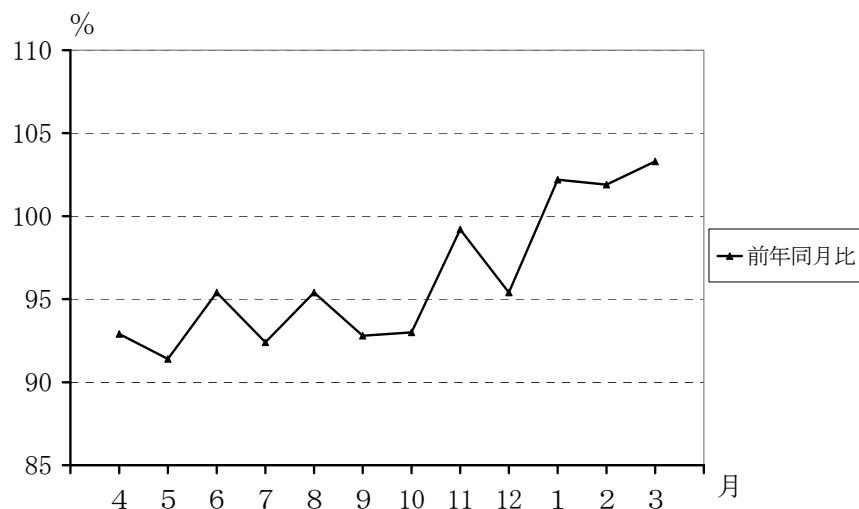
(図 2-1、図 2-2 参照)

注) 平成 21 年 4 月から宅配便輸送の調査対象については、1 社減り、19 社となった。

(図 2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図 2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 調査対象 27 社の品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

前月と比べると、稼働日数の増加や年度末の決算期を迎えたことにより、全ての品目で輸送量が増加した。増加要因としては、工場・生産地からの貨物増及び季節的需要増が全ての品目に共通してみられたほか、「機械」、「化学工業品」、「繊維工業品」、「食料工業品」、「日用品」では倉庫から出る貨物増等も要因となっている。地域的には、「金属製品」、「機械」、「化学工業品」、「繊維工業品」、「食料工業品」、「日用品」がほぼ全国的に増加したほか、「農水産品」が東北、関東で増加している。

前年同月と比べると、工場・生産地からの貨物増等により、「金属製品」、「機械」、「食料工業品」等で、景気回復の兆しにより「化学工業品」等で輸送量の増加がみられた一方で、倉庫から出る貨物減により「繊維工業品」で、デパート・スーパーからの貨物減により「その他 (百貨店配送品)」で輸送量が減少している。地域的には、「金属製品」、「機械」、「食料工業品」、「日用品」、「化学工業品」が東京、神奈川、中部、大阪、兵庫、中国等で増加がみられた一方で、「農水産品」が北海道、東北で、「繊維工業品」が神奈川、近畿で、「その他 (百貨店配送品)」が神奈川等で減少している。

(表1) 品目別増減状況 (回答事業者数 27社)

品 目		増減事業者数					主 な 増 減 品 目 (上段が増加・下段が減少)	主 な 増 減 地 域	※ 増減要因
		著 増	増	変 らず	減	著 減			
前 月 に 比 べ て	農 水 産 品	1	5	11	1			東北、関東	4, 8
	金 属 製 品	1	8	11		1	その他の金属製品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、福岡	4, 8
	機 械	3	8	10			電気機械、その他の機械、機械部品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、福岡	4, 7, 8
	化学工業品	1	13	8			合成樹脂、その他の化学工業品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 8
繊維工業品			9	13		糸、織物	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 8	
食料工業品	2	7	11			製造食品、飲料、その他の食料工業品、加工食品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、福岡	4, 7, 8	
日 用 品	4	9	9			書籍・印刷物、衣服、身廻品、その他の日用品	北海道、東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、九州、全国	4, 5, 7, 8	
そ の 他	5	4	10	1	2		神奈川、中国、全国	2, 4, 8	
前 年 同 月 に 比 べ て	農 水 産 品	1	3	11	2	1	農産品	北海道、東北	
	金 属 製 品	4	7	9	1		その他の金属製品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、福岡	4, 7
	機 械	5	7	8	1		電気機械、機械部品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 9
	化学工業品	2	9	8	3		合成樹脂	東京、神奈川、中部、大阪、兵庫、中国	9
繊維工業品	2	2	14	4		織物	神奈川、近畿	7	
食料工業品	2	4	12	2		飲料、加工食品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4	
日 用 品	1	5	12	3	1		東京、神奈川、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国		
						衣服、その他の日用品	北海道、東北	5, 9	
そ の 他	1	6	6	5	3			4	
						百貨店配送品	神奈川、全国	2	

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市県(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市県を含む場合はそれらをのぞく府県、九州は沖縄を含む)]単位である。なお、地方運輸局に6大都市県を含む場合は「～地方」と表記した。

※ 増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気的好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 756 社／調査対象事業者数 1,089 社）の輸送量は、前月比 110.3%、前年同月比 108.9%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北陸信越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前 月 比	110.3%	103.4%	116.1%	112.9%	115.6%	108.1%	116.0%	113.8%	107.1%	114.5%	119.3%
前年同月比	108.9%	106.8%	107.4%	113.3%	114.0%	114.5%	108.6%	111.3%	106.8%	107.8%	94.7%

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	本月の輸送は、対前月比 103.4%、対前年同月比 106.8%であった。品目別には、季節的需要増等により「化学肥料」、「取り合せ品」等の輸送量が増加した。一方、建設工事の減少に伴う建設関連の需要減等により「木材」、「砂利・砂・石材」、「セメント」の輸送量が減少したほか、冬期が終了し雪が減少したことによる季節的需要減等により「廃棄物」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
東北	本月の輸送は、対前月比 116.1%、対前年同月比 107.4%であった。品目別には、季節的需要増等により「化学肥料」、「取り合せ品」等の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「鉄鋼」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、年度末で増加した本月の反動で次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
関東	本月の輸送は、対前月比 112.9%、対前年同月比 113.3%であった。品目別には、季節的需要増等により「動植物性飼・肥料」等の輸送量が増加した。一方、工場・生産地からの貨物減により「金属製品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
北陸信越	本月の輸送は、対前月比 115.6%、対前年同月比 114.0%であった。品目別には、建設関連の需要増等により「機械」の輸送量が増加した。一方、工場・生産地からの貨物減等により「紙・パルプ」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
中部	本月の輸送は、対前月比 108.1%、対前年同月比 114.5%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増等により「その他の化学工業品」等の輸送量が増加した。一方、工場・生産地からの貨物減により「その他の農産品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
近畿	本月の輸送は、対前月比 116.0%、対前年同月比 108.6%であった。品目別には、デパート・スーパーの貨物増等により「食料工業品」の輸送量が増加した。一方、不況の影響により「その他の製造工業品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
中国	本月の輸送は、対前月比 113.8%、対前年同月比 111.3%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増等により「その他の石油製品」等の輸送量が増加したほか、季節的需要増等により「その他の化学工業品」、「取り合せ品」等の輸送量が増加している。一方、工場・生産地からの貨物減等により「繊維工業品」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、年度末の季節的需要の反動で次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
四国	本月の輸送は、対前月比 107.1%、対前年同月比 106.8%であった。品目別には、建設関連の需要増により「鉄鋼」、「セメント」の輸送量が増加した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともにほぼ横ばいと予想される。
九州	本月の輸送は、対前月比 114.5%、対前年同月比 107.8%であった。品目別には、季節的需要増等により「野菜・果物」、「日用品」等の輸送量が増加した。一方、工場・生産地からの貨物減等により「その他のくずもの」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。
沖縄	本月の輸送は、対前月比 119.3%、対前年同月比 94.7%であった。品目別には、季節的需要増等により「取り合せ品」等の輸送量が増加した。一方、季節的需要減により「木材」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月は減少傾向、以降は増加傾向と予想される。

(3) 運輸局別、品目別増減状況（対前月比）

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

運輸局		北海道	東北	関東	北信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
品目	増	2	2		2					1	1	8
	減	1										1
1. 穀物	増						1		1	7		9
	減	1	1							1		3
2. 野菜・果物	増		2					2			1	5
	減	1				1						2
3. その他の農産品	増	1	1						1	2		5
	減											
4. 畜産品	増		1		1					1		3
	減	3										3
5. 水産品	増	2	4		1			1				8
	減	5									1	6
6. 木材	増											
	減											
7. 薪炭	増	1								1		2
	減	1										1
8. 石炭	増	1		1						1		3
	減											
9. 金属鉱物	増	2	2		1			2		1		8
	減	7	1	1				1		2		12
10. 砂利・砂・石材	増	2	1		1	1				1		6
	減	4	1							1		6
11. 工業用非金属鉱物	増		1		1		2	4	1	1	1	11
	減		2		1			1				4
12. 鉄鋼	増		1									1
	減											
13. 非鉄金属	増	1	1		2		2		1	1		8
	減		1	1	1		2	1				6
14. 金属製品	増			1	5	4		3	1	3	2	19
	減				2		2	2			1	7
15. 機械	増	1	1		1	1		1	1	2		8
	減	5			2		1			2		10
16. セメント	増	1	2	1	1		1	2				8
	減	1										1
17. その他の窯業品	増											
	減											

運輸局		北海道	東北	関東	北信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
品目	増	1	2	1	1							5
	減	2										2
18. 揮 発 油	増	1		1	3		1	2	1	1		10
19. その他の石油製品	減	2			1							3
20. コークス・ その他の石炭製品	増				1							1
	減											
21. 化 学 薬 品	増	1	1							2		4
	減		2									2
22. 化 学 肥 料	増	3	5					2				10
	減				1							1
23. その他の化学工業品	増	1	2			1		4		1		9
	減											
24. 紙 ・ パ ル プ	増				1	1	2	2	1	3	1	11
	減	1			2			2		1		6
25. 織 維 工 業 品	増				2				1			3
	減							2		1		3
26. 食 料 工 業 品	増		4		4		3	5	3	2		21
	減		1		1			1		2		5
27. 日 用 品	増	2	2	1			1	1		2	1	10
	減	2		1				1	1		1	6
28. その他の製造工業品	増			3				4		4		11
	減					2	1	1		1		5
29. 金 属 く ず	増									1	1	2
	減											
30. その他のくずもの	増							1		1		2
	減									2		2
31. 動植物性飼・肥料	増	1	3	3						2		9
	減			1	1					1	1	4
32. 廃 棄 物	増	3	1					3	2	3		12
	減	9										9
33. 輸 送 用 容 器	増				1			1	1	2		5
	減	1										1
34. 取 り 合 せ 品	増	2	2	1	1	1	2	6		2	3	20
	減				1							1
35. そ の 他	増		2	5	2	3	3	7	1	4		27
	減	2			1	1		2		2	1	9